パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

94 ユネスコ本部の中の日本　（2022 年１月 13 日）

パリには、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の本部がありますが、ユネスコ本部内では、世界各国の著名な芸術家の作品の中で、日本に関する作品も観ることができますのでご紹介します。

日系アメリカ人のイサム・ノグチ（＊）が作った「平和の庭園」があります。通称、日本庭園と呼ばれています。建設当時に日本から持ち込まれた樹木や石が使われました。古典的な日本庭園とは少し趣が異なりますが、蹲（つくばい）などの茶室に用いられるものが置かれ、「花道」と呼ばれるコンクリートのスロープがあり、日本の影響を受けた庭園です。庭園の入口にある滝は、「和」という漢字が彫られていることから「和の滝」と呼ばれています。ノグチが彫刻した灯篭もあります。よく見るとカタカナで「ノ」「グ」」「チ」と彫られています。

庭園に面する建物の壁には、天使の頭の像が飾られています。これは、長崎の浦上天主堂の正面にあったもので、1945 年８月９日の長崎への原子爆弾投下の被害を奇跡的に免れたものです。1976 年にユネスコ設立 30 周年を記念して、長崎市から寄贈されました。

日本庭園の横には、日本人建築家・安藤忠雄（＊＊）による「瞑想の空間」もあります。1995 年に建設されたもので、コンクリートの円筒状になっています。安藤が改修を手掛けたブルス・ド・コメルスと類似性が感じられます。近くには、彫刻家・佐藤忠良（ちゅうりょう）による少女像もあります。

ユネスコ本部内部は通常は一般公開していませんが、文化行事が行われる際には一般の方も中に入ることができますので、内部を見学する機会があればこれらの作品もご覧になってください。

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

＊　90 柳宗理とイサム・ノグチ
https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100545689.pdf

＊＊ 91 フランスで活躍する日本人建築家３
https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100545690.pdf